

防災・災害時対応など町内会活動充実 8年度

自治会総会を開催 ▶

湖山地区自治会の令和8年度総会が4月25日、湖山地区公民館で開かれ、町内会活動の充実化などを柱とする8年度事業計画や総額約643万円の一般会計予算をいずれも原案通り承認。湖山のさらなる活性化に向けた1年間がスタートした。

町区長との意見交換を継続

総会には、各町区長のほか、青少年育成湖山地区協議会や老人クラブ連合会など自治会構成団体の団体長ら計32人が出席。8年度事業計画では、消火訓練の合同実施や防災・災害時対応への取り組みなどを想定した町内活動の充実化



、7年度に初実施した自治会三役と町区長、構成団体役員との意見交換会継続による連携強化などを重点に据えた主要事業が提案された。また、一般会計予算では、活動費や備品購入などの管理費について、前年度実績を基に予算額を絞った支出案が示された。

自治会三役 5人体制に

役員改選では、山下恭史会長(新川)と副会長4人の三役(5人体制)をはじめ理事15人と監事2人が、執行部案通り選出された。

一方、7年度の事業報告では、「あじさいロード」の植栽管理の終結に伴うあじさい撤去などについて説明。一般会計決算では、予算比約165万円を減額した約513万円の決算案が報告され、いずれも承認された。

会長3期目となる山下氏は「6年度からの方針『自治会が取り組むべきもの、自治会が取り組んだ方がより効果的と思われる

■8年度主要事業

ニカッコ()の内容は例示

【町内会活動の充実化】

- (1)消火訓練の合同実施など
- (2)防災・災害時対応への取り組み
- (3)子どもや高齢者に関する活動支援
- (4)町内会事業全般における好事例紹介、情報交換会の実施

【構成団体等との連携強化】

- (1)自主防災会と連携しつつ防災への取り組み強化

事項に優先順位をつけながら取り組む』を引き続き実践し、取り巻く環境の変化のなかで持続的な自治会活動を目指していくと、新年度に臨む決意を述べた。



総会1週間前の4月18日には、湖山地区自治会の第1回町区長会議が、同地区公民館で開かれ、自治連地区会長の報告などが行われた。

永年功労 2 氏に感謝状

総会では、永年功労者への感謝状贈呈が行われ、村上庄司(農高南)、山崎祐司(南二丁目南)の2氏に、山下会長から感謝状と記念品が贈られた。

23 日、地区民と児童がわくわく交流

湖山小学校教育協議会は5月23日、「みんな集まれ!湖山わくわく交流広場」と題したイベントを、湖山小グラウンドで初開催する。同協議会は「多くの地区民に参加してほしい」としている。

この日は午前中に同小運動会が開催される。わくわく交流広場は午後1時15分から3時15分まで。じゃんけん大会やビンゴ大会などを行い、児童と地区民がふれあう。湖山小児童だけでなく、鳥取大附属小児童にも参加を呼びかけている。

参加は無料で、午後1時から受付開始。水分補給用の飲み水の持参を。

体育会 役員と事務局員募集

湖山体育会は、同会の活動を担う役員と事務局員を募集している。

同会は近年、活動が停滞し、運営が困

難な状況となっている。このため8年度を運営転換の移行期間と位置づけ、行事の見直しや組織の再編に取り組む。

役員は会の運営方針の検討や行事の企画・調整など、事務局員は会議資料の作成や行事運営の補助など事務業務を、それぞれ担当する。「質問や相談だけでも歓迎」としており、関心のある方は、体育会事務局(湖山公民館28・1017)へ。

■湖山自治会 理事・監事

会長	山下恭史(新川)
副会長	山根広幸(浜)
	本庄和志(茶屋三区)
	松田則章(南二丁目南)
	山本康弘(駅前三区)
理事	栃本 悟(茶屋一区长)
	飴野公平(茶屋四区长)
	川上浩之(島川区长)
	影井壽昌(井津水区长)
	奥田康仁(南二丁目南会長)
	田中健一(南団地副会長)
	小野勇一(青少年育成湖山地区協議会長)
	児島 良(民生委員児童委員協議会長)
	澁谷安佐子(社会福祉協議会長)
	田中忠義(人権啓発推進協議会長)
監事	山本智枝(南通り会長)
	國米 剛(さかえ会長)

＝敬称略・順不同